

こども議会

次世代を担うこどもたちが市政を身近に感じ、興味・関心を持つ機会となるよう8月9日、市役所でこども議会が開催されました。市内4中学校から選出された15人のこども議員たちは、この日に向けて市議会の仕組みや市政についての研修を受講。ひとつずつ着実に準備をしてきました。

当日は1人ずつ登壇し、防災対策や環境問題などさまざまな分野の質問を行い、これに対しておやまたすく小山祐市長らが答弁。今回は15人のこども議員の質問内容を要約し、抜粋して紹介します。

学校教育課 ☎32-8026 📠34-4379



地震対策および訓練について

いもとみほね
井本美羽議員
(三好中学校)



Q. 高齢者や障がい者が安全に避難できるよう、避難専用道路を全ての行政区に整備するべきだと思いますが、それに対しての市の考えを聞かせてください。

A. 避難専用道路の整備も良いアイデアだと思いますが、まずは地域の誰もが安全に避難できる自主防災体制を整備することを、優先して実施していかなければならないと考えています。住民同士がつながり、互いに支え合える地域づくりが大切です。

部活動の地域移行について

やまなかあいね
山中愛音議員
(三好中学校)



Q. 今年度から部活動の地域移行が実施されていますが、先生の負担が少なくなっている気がしません。負担軽減のため、部活動の指導などでもう少し地域の人をメインとしたものにできたらと考えますがどうですか。

A. 休日の部活動の地域移行については、本年度ほとんどの部活動への協力者を配置できましたが、顧問に代わる部活動指導者はまだ十分な人数がそろっていません。今後も指導者の開拓に力を入れていきます。

市の取り組みを知らせる方法について

かとうかすみ
加藤花澄議員
(北中学校)



Q. 市の取り組みを知らない人が多いため、各校の生徒会新聞などに市のイベントや新しい取り組みを紹介してもらったらよいと思うのですが、どうですか。

A. 今回、各校の生徒会新聞などを活用することを提案いただいたので、ぜひ新聞で市が新たに始めた公式LINEがあることを紹介していただき、LINEを利用している人がいれば友だち登録をしてもらい、市の情報を知ってもらえるよう働きかけていきたいと思っています。

学校の服装について

ひらいさや
平位紗弥議員
(北中学校)



Q. 制服の下に体操服を着ていないと体育の授業や掃除の際にスムーズに動くことができませんが、夏は暑くて授業に集中できません。空き教室を利用して着替えることができればと考えますが、どうでしょうか。

A. 市では実現に向けて出来ることを学校に提案していきます。並行して生徒の側からも更衣室の必要性や実現に向けた具体的な方法について先生に提案して、あるべき環境を一緒につくっていきましょう。



地域での つながりについて

やまもと ゆうだい
山本雄大議員
(三好中学校)

Q. 災害時などは地域のつながりが大切であると学びました。僕は近所にどんな人が住んでいるのか分かっていません。地域のつながりを良くするため、学校の行事への招待状を地域の高齢者に直接手渡し、交流のきっかけとする提案に対する市としての考えは。

A. 敬老会やグラウンドゴルフを行っている高齢者の団体に、学校行事の招待状を渡してはどうでしょうか。実施に当たっては、学校の先生にも相談してください。

自転車に関するルールや マナーの教育について

おおにし ひろき
大西洋輝議員
(三好中学校)

Q. 自転車に関するルールやマナーを守れている人が少ないと思います。危険な運転をするとどうなるかを動画や安全教室で身近に感じてもらうなど、交通ルールやマナーについての教育を強化してはどうでしょうか。

A. 本市が実施する交通安全の啓発活動を通じて、自転車のルールやマナー、規制、罰則などについて興味を持ってもらい、自ら学び理解していただけるよう意識の向上を図りたいと考えます。

放課後児童クラブの 定員について

まつい
松井なぎ議員
(北中学校)



Q. 放課後児童クラブで、学年が上がるにつれ低学年優先のため待機することがありました。高学年でも待機とにならないよう定員を増やす、施設を増設する、体育館を開放するなどの方法をとってははどうですか。

A. 学習・運動など体験の場を提供する「わくわく体験ルーム」の充実や、各地区の児童館などの公共施設の利用などを視野に検討し、よりよい放課後の過ごし方をつくり出していきたいと思います。

公園のごみについて

はやどおり うみ
早通海美議員
(北中学校)



Q. 家の近くの公園で、たくさんのごみがポイ捨てされています。ポイ捨て禁止の看板を立てると、少しでもごみが減るのではないかと思います。

A. 市では「みよし市ポイ捨て等の防止に関する条例」を設け、環境美化に取り組んでいます。ごみは自分で持ち帰るようホームページなどで注意喚起を行っていますが、状況がひどい場合には看板を設置して更なる注意喚起を行っていきます。

みよしの交通について

みなみせ いや
南勢弥議員
(南中学校)



Q. 市内の移動手段について、車がない子どもや高齢者にとってバス停まで遠いなどの場合は、少し厳しいと考えます。新たな交通手段として「スマホ一つで呼べる無人タクシー」を導入しては。

A. さんさんバスの最寄りのバス停まで送る、乗継タクシーで乗車支援を行っています。今後、無人タクシーが実用できるようになれば、費用軽減や運転手不足を解消する新たな移動手段として有効であると考えます。

特産物を生かした 地域交流について

いのうえ ことは
井上琴葉議員
(南中学校)



Q. 小・中学生がもっと市の魅力を知り、好きになる機会があればいいと思います。市の特産品を使った料理コンテストや料理教室を開催して、優秀な料理が製品化できれば市の財政確保にもつながると思います。

A. コンテストや料理教室は現在も行っていますが、農産物を使ったイベントで小・中学生と農家や産業者、地域の人たちとの交流が生まれるように、対象を広げるなど関係団体と内容の見直しを図っていきます。

公共施設について

かわかみきょうたろう
河上響太郎議員
(南中学校)



Q. 普段利用する道路や公園などの公共施設が、年季が入ってボロボロになってしまっているのを目にすることがあります。募金やクラウドファンディングで資金を募り、それで公共施設を改修してはどうでしょうか。

A. 施設更新の際は、ふるさと納税やクラウドファンディングなどにより必要な資金を確保するとともに、民間事業者の資金やノウハウについて導入事例を積極的に採用するなど、さまざまな方法を検討していきます。

友好都市との交流について

おとせそうま
音瀬蒼真議員
(三好丘中学校)



Q. 友好都市との交流に参加できるのは一部の人なので、年齢に関係なくたくさんの人が現地で楽しめるよう、市主催でスポーツ大会などの催しを行うなど、今よりももっと深く交流してはどうか。

A. 交流は多世代を対象に取り組んでいますが、特に小・中学生は将来を考えるきっかけづくりやさまざまな考え方ができるように、交流を進めています。今後もより多くの人が交流できるよう努めていきます。

将来の自然環境について

ひらぬまりょうた
平沼遼太議員
(三好丘中学校)



Q. 森や林を増やしたり電気自動車を導入したりして、空気が汚れない工夫をした方が良いと思いますが、市としてどのような取り組みを考えていますか。

A. 主な取り組みとして、①大気の観測や測定の実施、②クリーンエネルギーの普及、③緑を守り育てるための教育と普及活動です。今後もこれらを充実させるとともに新たな事業も導入し、市民の皆さんや事業者と協働で環境問題に取り組んでいきたいと考えます。

プラスチックごみの分別について

いであつの
井手敦乃議員
(三好丘中学校)



Q. プラスチックごみの分別をする際に、パックに貼られているシールやどうしても取れない部品があるとき、どうすればよいか分からない人もいます。プラスチックごみの分別の基準が曖昧なため、基準を細かくするというのはどうでしょうか。

A. より分かりやすい説明や案内をし、資源化やごみ減量化に一人でも多くの人が協力していただけるよう普及・啓発に努めていきます。

市民プールの設置について

やまだよしの
山田佳乃議員
(三好丘中学校)



Q. プールはこどもの遊び場だけでなく、高齢者や障がい者のリハビリや運動など活用の仕方は多様だと思います。市民プールの設置を提案しますが、市の考えは。

A. 市民へのアンケート調査では、屋内プールなどの健康増進施設についての要望が多く、整備が望まれています。トレーニングジムの併設や学校授業での活用も含め、実現の可能性や建設・運営のアイデアについて、民間事業者と話し合う中で検討していきます。

政治に興味や関心がある、自分の思いを議会で発信したいなど、それぞれの思いを胸に堂々と質問を投げかけたことも議員たち。議員からの素直な質問には、大人が改めて気付かされることが多くありました。どうしたらみよし市の魅力を発信できるのか、どうしたらもっと住みやすくなるのか。こども議員たちは質問を考えることを通して、自分が住んでいるまちについて考える良い機会となったようです。

▶こども議会の様子をYouTubeで動画配信しています。右記QRコードから、ぜひご覧ください。



YouTube